

2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施しており、平成 30 年 2 月からは胃がん検診（胃内視鏡検査）も実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、平成 24 年度から胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

（1）大津市がん対策推進基本計画

平成 28 年 4 月、「大津市がん対策推進条例」を施行し、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するため、この計画を策定した。

【1】計画の基本的な考え方

① 基本理念

がんを知り、がん向き合い、がんとともに暮らせるまちづくり

② 基本目標

- ・がん予防の推進
- ・がんの早期発見の推進
- ・がん医療の充実と療養生活の質的向上
- ・がん患者とその家族への支援の充実
- ・働く世代へのがん対策の充実

【2】計画の推進

大津市がん対策推進委員会に進捗状況を報告し、進行管理に努めるとともに、行政だけでなく、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者、地域団体等と連携し、それぞれの役割に応じた取り組みを推進していく。

（2）健康手帳の交付

健（検）診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

■健康手帳交付状況

（単位：人）

合 計	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
1,691	64	278	198	550	601

（3）健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

健康教育には個別健康教育と集団健康教育があり、個別健康教育としては、禁煙を希望する市民を対象に、禁煙支援及び喫煙による生活習慣病を予防することを目的に喫煙者個別健康教育を実施している。ただし利用者は年々減少しており、平成 29 年度は昨年度に引き続き利用者がいなかった。

集団健康教育としては、各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

■ 集団健康教育実施状況

〈健康増進事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁煙	他の疾病予防
開催回数	120	17	12	8	13	36	32	1	1
参加延人数	2,470	215	424	103	290	690	557	185	6

〈介護予防普及啓発事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	介護予防	転倒予防	食生活	口腔ケア	がん予防	閉じこもり予防	認知症予防	健康づくり	骨粗鬆症	地域づくり	生活習慣病予防	他の疾病予防
開催回数	269	121	32	22	17	—	1	21	30	3	5	11	6
参加延人数	5,894	2,548	730	459	425	—	16	549	661	59	142	215	90

(4) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。各市民センターにおいては定例の健康相談日を設けている。また地域からの依頼により、各学区老人クラブ等を対象とした健康相談も実施している。

■ 健康相談実施状況

(単位：回・人)

相談方法	実施回数	相談延人数				相談延件数											
		母子	成人・老人	精神	合計	母子					成人・老人					精神	合計
						乳児	幼児	妊産婦	思春期	小計	重点	64歳以下	65歳以上	小計			
来所相談	すこやか	1,708	4,579	451	274	5,304	4,232	2,004	32	11	6,279	—	205	250	455	275	7,009
	学区定例	143	1,235	227	3	1,465	945	831	2	—	1,778	—	29	212	241	3	2,022
	老人クラブ	6	—	111	—	111	—	—	—	—	—	—	—	111	111	—	111
	その他	185	1,171	1,255	—	2,426	664	827	1	—	1,492	—	252	1,092	1,344	—	2,836
	小計	2,042	6,985	2,044	277	9,306	5,841	3,662	35	11	9,549	—	486	1,665	2,151	278	11,978
	電話相談	—	1,350	125	1,022	2,497	905	569	137	12	1,623	—	79	56	135	2,035	3,793
	合計	2,042	8,335	2,169	1,299	11,803	6,746	4,231	172	23	11,172	—	565	1,721	2,286	2,313	15,771

(5) 訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づき訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

訪問実人数(人)	7	訪問延人数(人)	21
----------	---	----------	----

(6) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。

また、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、平成23年度から個別受診勧奨として、年度年齢41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診して

いない者に対して無料クーポン券を送付している。さらに、平成 28 年度からは検診初年度となる年度年齢 40 歳の者に対し無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

平成 29 年度より、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

- 対 象 者 当該年度において 40 歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に 1 回。
 ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者
 イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか 1 つでも保健指導判定値であった者
- 実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式
- 検査内容 B型肝炎ウイルス検診及びC型肝炎ウイルス検診
- 検 診 料 1,000 円（ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■実施方法別受診者数

個別方式：1,767 人 集団方式：191 人（4 回実施）

■無料クーポン券利用状況：対象者数 23,087 人 受診者数 1,658 人 利用率 7.2%

■年齢別性別検診結果

（単位：人）

区 分		総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数		1,958	675	1,283	239	541	80	168	72	144	67	155	129	187	44	48	44	40
検診結果	B 型																	
	陽性	7	4	3	2	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	陰性	1,951	671	1,280	237	540	80	167	71	144	67	155	128	187	44	47	44	40
C 型	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」	1,957	674	1,283	238	541	80	168	72	144	67	155	129	187	44	48	44	40

（7）がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施（補助金による財源措置）していたが、平成 10 年度に老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施。平成 20 年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施（地方交付税による財源措置）している。

① ●胃がん検診（胃部エックス線検査）

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女とものがんによる死亡の上位を占めている。そこで本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検診を実施している。市保有の検診車の廃車に伴い平成 8 年度から胃部エックス線撮影のみを業者委託で実施してきたが、平成 25 年度からは、胃部エックス線写真の読影も含め業者委託としている。また、大津市消化器がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行っている。

- 対 象 者 当該年度において 40 歳以上の市民で 1 年度に 1 回
- 実施方法 検診機関に委託して検診車による集団検診を各学区市民センター等において実施
- 検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査
- 検 診 料 1,000 円（ただし、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳

から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■平成 29 年度胃がん検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	104,033	38,985	65,048	50,840	17,678	33,162
受診者数	2,646	1,127	1,519	1,760	649	1,111
受診率	2.5	2.9	2.3	3.5	3.7	3.6
要精検者数	153	84	69	77	37	40
要精検率	5.8	7.5	4.5	4.4	5.7	3.6
精検受診者数	130	69	61	63	28	35
精検受診率	85	82.1	88.4	81.8	75.7	87.5
胃がん	4	1	3	1	-	1
がん発見率	0.15	0.09	0.20	0.06	-	0.09

※精密検査受診結果については平成 30 年 6 月 30 日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数（平成 27 年国勢調査）+農林水産業従事者数（平成 27 年国勢調査）

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成 30 年 6 月 30 日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数	40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	2,646	1,127	1,519	115	306	57	121	33	92	36	95	101	182	307	315	478	408
(再掲)初回受診者数	977	362	615	82	238	22	50	11	41	10	35	41	60	86	94	110	97
	初回受診割合	36.9	32.1	40.5	71.3	77.8	38.6	41.3	33.3	44.6	27.8	36.8	40.6	33.0	28.0	29.8	23.0
精検不要者数	2,493	1,043	1,450	114	302	56	119	31	82	35	95	94	175	282	298	431	379
要精検者数	153	84	69	1	4	1	2	2	10	1	0	7	7	25	17	47	29
要精検率	5.8	7.5	4.5	0.9	1.3	1.8	1.7	6.1	10.9	2.8	0.0	6.9	3.8	8.1	5.4	9.8	7.1
精検受診者数	130	69	61	1	3	-	2	2	7	-	-	6	6	19	17	41	26
精密検査結果	早期がん	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
	進行がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	胃潰瘍	5	4	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	1
	胃潰瘍癒痕	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2
	十二指腸潰瘍	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	十二指腸潰瘍癒痕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	粘膜下腫瘍	4	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	胃ポリープ	13	7	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	3	5
	十二指腸ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	びらん性胃炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	萎縮性胃炎	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
	慢性胃炎	84	44	40	-	3	-	1	1	3	-	-	2	6	11	11	30
	その他の胃炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
異常なし	3	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	

●胃がん検診（胃内視鏡検査）

平成 28 年 2 月、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改定により対策型胃内視鏡検診が位置づけられた。長年の課題であった胃がん検診の低調な受診率を向上させるため、平成 30 年 2 月から胃内視鏡検査による胃がん検診を実施している。

対 象 者 当該年度において 50 歳以上の偶数年齢の市民で 2 年度に 1 回

実施方法 実施医療機関に委託して、個別方式で実施

検査方法 胃内視鏡検査

検 診 料 4,000 円（ただし、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■年齢別性別検診結果

(平成 30 年 6 月 30 日現在)

(単位：人・%)

	総数			50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上	
	総合計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受診者数	49	15	34	1	2		2	1	3	4	7	9	20
胃がんなし	44	13	31	-	2	-	2	1	3	3	6	9	18
要経過観察(がん無)	4	1	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
胃がん疑い	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精検必要(あり)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精検必要(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数や死亡率は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成 2 年度から老人保健法に基づき実施し、平成 5 年度からは医療機関に委託して実施している。また、平成 23 年度から、国の「がん検診推進事業実施要綱」に基づき、年度年齢 41 歳～61 歳の 5 歳刻みの節目年齢者に無料クーポン券を送付し、平成 28、29 年度は市単独事業で 40 歳に受診券を、41 歳及び 46 歳～61 歳の 5 歳刻みの節目年齢で 5 年間未受診者に無料クーポン券を、大津市国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者には無料受診券を送付し受診促進を図っている。

対象者 当該年度において 40 歳以上の市民で 1 年度に 1 回

実施方法 実施医療機関に委託して、個別方式で実施

検査方法 便潜血検査(免疫便潜血検査 2 日法、OC センサー方式)

検診料 600 円(ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■平成 29 年度大腸がん検診結果

(単位：人・%)

	全年齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	104,033	38,985	65,048	50,840	17,678	33,162
受診者数	19,304	7,622	11,682	9,449	3,354	6,095
受診率	18.6	19.6	18.0	18.6	19.4	18.3
要精検者数	1,190	590	600	478	229	249
要精検率	6.2	7.7	5.1	5.1	6.8	4.1
精検受診者数	971	476	495	381	177	204
精検受診率	81.6	80.7	82.5	79.7	77.3	81.9
大腸がん	44	30	14	16	12	4
がん発見率	0.23	0.39	0.12	0.17	0.36	0.07

※精密検査受診結果については平成 30 年 6 月 30 日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成 27 年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成 27 年国勢調査)

■無料クーポン券利用状況 : 対象者数 16,299 人 受診者数 775 人 受診率 4.8%

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成30年6月30日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	19,304	7,622	11,682	379	672	287	495	276	522	275	689	524	1,200	1,613	2,517	4,268	5,587		
(再掲)初回受診者数	5,237	2,137	3,100	240	448	108	221	91	202	93	227	205	336	434	552	966	1,114		
初回受診割合	27.1	28.0	26.5	63.3	66.7	37.6	44.6	33.0	38.7	33.8	32.9	39.1	28.0	26.9	21.9	22.6	19.9		
検診結果	精検不要者数	18,114	7,032	11,082	360	648	275	477	256	502	262	661	494	1,155	1,478	2,403	3,907	5,236	
	要精検者数	1,190	590	600	19	24	12	18	20	20	13	28	30	45	135	114	361	351	
	要精検率	6.2	7.7	5.1	5.0	3.6	4.2	3.6	7.2	3.8	4.7	4.1	5.7	3.8	8.4	4.5	8.5	6.3	
精密検査結果	精検受診者数	971	476	495	16	19	10	16	16	18	7	19	23	41	105	91	299	291	
大腸がん	早期がん	16	11	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1	7	4		
	進行がん	25	17	8	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	6	-	9	6	
	進行期不明	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	
	ポリープ	腺腫性	485	278	207	7	3	7	3	4	9	3	7	17	19	66	36	174	130
		過形成性	53	20	33	1	1	-	3	1	1	2	1	1	4	7	11	19	
		その他	19	9	10	-	-	-	1	-	1	-	-	-	4	3	5	5	
	潰瘍性大腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他炎症性腸疾患	7	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	4	
	憩室	90	37	53	2	-	-	2	3	-	-	-	1	3	4	10	27	38	
	痔核	86	36	50	1	1	1	3	4	4	1	1	1	4	7	12	21	25	
	その他	29	12	17	1	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	11	10	
	異常なし	158	53	105	4	11	2	4	3	3	-	9	2	9	11	19	31	50	

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多く、その罹患率及び死亡率は年々増加しつつある。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月より肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診(対象者かつ個別方式のみ)

検 診 料 胸部エックス線検査500円 喀痰細胞診1,000円

ただし、70歳以上(胸部エックス線検査については65歳以上)の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者の喀痰細胞診は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■実施方法別受診者数 個別方式：20,617人 集団方式：498人(4回実施)

■平成29年度肺がん結核検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	104,033	38,985	65,048	50,840	17,678	33,162
受診者数	21,115	8,454	12,661	9,358	3,438	5,920
受診率	20.3	21.7	19.5	18.4	19.4	17.9
要精検者数	1095 (740)	542 (374)	553 (366)	356 (256)	174 (131)	182 (125)
要精検率	5.2 (3.5)	6.4 (4.4)	4.4 (2.9)	3.8 (2.7)	5.1 (3.8)	3.1 (2.1)
精検受診者数	958 (658)	466 (328)	492 (330)	314 (228)	151 (116)	163 (112)
精検受診率	87.5 (88.9)	86.0 (87.7)	89.0 (90.2)	88.2 (89.1)	86.8 (88.5)	89.6 (89.6)
肺がん	13 (8)	10 (5)	3 (3)	5 (3)	4 (2)	1 (1)
がん発見率	0.06	0.12	0.02	0.05	0.12	0.02

※精密検査受診結果については平成 30 年 6 月 30 日現在

※ () 内の数字はE判定の結果

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成 27 年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成 27 年国勢調査)

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成 30 年 6 月 30 日現在)

(単位:人・%)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	21,115	8,454	12,661	331	576	248	445	268	433	275	596	504	1,137	1,812	2,733	5,016	6,741	
〔(再掲)喀痰検査実施者数	1,773	1,606	167	-	-	-	-	44	10	50	17	108	18	434	48	970	74	
〔(再掲)初回受診者数	8,830	3,477	5,353	241	451	105	269	121	232	110	290	249	508	753	1,014	1,898	2,589	
〔初回受診割合	41.8	41.1	42.3	72.8	78.3	42.3	60.4	45.1	53.6	40.0	48.7	49.4	44.7	41.6	37.1	37.8	38.4	
検診結果	精検不要者数	20,020	7,912	12,108	323	568	244	438	259	420	262	580	474	1,098	1,702	2,634	4,648	6,370
	要精検者数	1,095	541	553	8	8	4	7	9	13	13	16	30	39	110	99	368	371
	〔精検率	5.2	6.4	4.4	2.4	1.4	1.6	1.6	3.4	3.0	4.7	2.7	6.0	3.4	6.1	3.6	7.3	5.5
	〔(再掲)E判定者数	740	374	366	7	7	3	5	6	9	9	11	24	26	82	67	243	241
	〔E判定率	3.5	4.4	2.9	2.1	1.2	1.2	1.1	2.2	2.1	3.3	1.8	4.8	2.3	4.5	2.5	4.8	3.6
	精検受診者数	958	466	492	6	7	3	5	8	12	11	13	27	34	96	92	315	329
精密検査結果	原発性肺がん	12	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	2
	転移性肺がん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	その他のがん	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	がんの疑い	55	28	27	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1	4	5	20	19
	その他の肺病変	282	139	143	4	1	2	3	3	2	1	3	6	8	25	18	98	108
	肺結核症	36	17	19	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	2	2	13	15
	その他	249	127	122	-	-	-	-	1	1	4	1	8	12	23	25	91	83
	異常なし	319	143	176	2	6	1	2	3	8	5	7	9	12	38	41	85	100

④子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトピローマウイルス(HPV)の感染が主な原因とされ、20～30歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成 10 年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成 11 年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成 17 年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも対象年齢を 30 歳以上から 20 歳以上に変更し、受診回数は 2 年度に 1 回とした。平成 23 年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内 19 市町が集合契約を締結し実施している。

地方交付税の上乗せとして平成 21 年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成 23 年度から「がん検診推進事業」、平成 26 年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成 27 年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、平成 29 年度については、大津市国民健康保険加入者を除いた 21 歳に加え、市単独事業として 26 歳～41 歳の 5 歳刻みの節目年齢者かつ過去 5 年間未受診者と 20 歳全員に無料クーポン券を送付している。また、22 歳～68 歳のうち年度年齢が偶数年齢で昨年度未受診者に対し、有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

対 象 者 当該年度において 20 歳以上の女性市民で 2 年度に 1 回

実施方法 県内登録医療機関に委託して、個別方式で実施

検査内容 視診、内診、子宮頸部の細胞診

検 診 料 1,000 円(ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■平成 29 年度子宮頸がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 20～69 歳
対象者数	79,139	47,253
受診者数	7,713	7,222
前年度受診者数	16,381	15,999
連続受診者数	0	0
受診率	30.4	49.1
要精検者数	139	135
要精検率	1.8	1.9
精検受診者数	114	110
精検受診率	82.0	81.5
子宮頸がん	2	2
がん発見率	0.03	0.03

※子宮頸がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については平成 30 年 6 月 30 日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成 27 年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成 27 年国勢調査)

※がん発見率については上皮内腺がん(AIS)を除く

■無料クーポン券利用状況 : 対象者数 6,867 人 受診者数 686 人 受診率 10.0%

■年齢別検診結果及び精密検査受診結果(平成 30 年 6 月 30 日現在) (単位：人・%)

区 分	総計	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
受診者数	7,713	423	534	789	827	1,064	1,037	824	609	581	534	491
(再掲) 初回受診者	4,205	389	364	560	383	548	515	374	261	309	274	228
初回受診割合	54.5	92.0	68.2	71.0	46.3	51.5	49.7	45.4	42.9	53.2	51.3	46.4
検診結果												
精検不要	7,574	410	518	773	810	1,042	1,010	815	602	577	530	487
要精検者数	139	13	16	16	17	22	27	9	7	4	4	4
要精検率	1.8	3.1	3.0	2.0	2.1	2.1	2.6	1.1	1.1	0.7	0.7	0.8
精検受診者数	114	10	13	10	13	21	22	7	7	4	3	4
精密検査結果												
扁平上皮癌 I b 期～	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
扁平上皮癌 I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部腺がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上皮内腺がん	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
体部内腺癌 I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内腺癌 I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内腺癌(進行期不明)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
異形成高度	19	1	4	-	3	5	5	-	-	1	-	-
異形成中等度	14	4	2	3	-	1	2	1	-	-	1	-
異形成軽度	39	4	4	7	3	4	7	4	3	1	-	2
頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細胞診異常	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膣炎	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
頸管炎	4	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	-	-	-	-	3	1	-	-	1	1	-
特記すべき病変なし	24	1	3	-	4	4	6	2	2	1	1	-

⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40歳代後半が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで1位となっているが、早期治療により治癒が可能と言われている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成13年9月までは30歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成13年10月から、50歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも40歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成29年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が40人から60人に増加し、より多くの市民が乳がん検診を受けられるようになった。

地方交付税の上乗せとして、平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用している。平成29年度については、市の単独事業として、41歳全員及び大津市国民健康保険加入者を除いた46～61歳の5歳刻みの節目年齢者かつ過去5年間未受診者に加え、40歳全員に無料クーポン券を送付している。また、43～69歳の奇数年齢かつ昨年度未受診者と平成27年度受診者（要精密検査者を除く）に有料受診券を送付することで、受診促進を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の女性市民で2年度に1回

実施方法 登録医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式で実施

検査内容 マンモグラフィ単独法

検診料 個別検診で40歳代1,800円、50歳以上1,300円
 集団検診で40歳代1,500円、50歳以上1,200円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■平成29年度乳がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 40～69歳
対象者数	65,048	33,162
受診者数	6,486	6,036
前年度受診者数	4,241	3,690
連続受診者数	44	44
受診率	16.4	29.2
要精検者数	440	428
要精検率	6.8	7.1
精検受診者数	414	403
精検受診率	94.1	94.2
乳がん	14	13
がん発見率	0.22	0.22

※乳がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については平成30年6月30日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)＋農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

■無料クーポン券利用状況 : 対象者数 10,179人 受診者数 1,137人 受診率 11.2%

■年齢別検診結果及び精密検査受診結果（平成30年6月30日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上		
受診者数		6,486	1,251	1,201	767	1,037	727	1,053	450		
	（再掲）初回受診者数	3,497	936	582	341	488	303	695	152		
	初回受診割合	53.9	74.8	48.5	44.5	47.1	41.7	66.0	33.8		
検 診 結 果	精検不要者数	6,046	1,141	1,101	712	964	689	1,001	438		
	要精検者数	440	110	100	55	73	38	52	12		
	要精検率	6.8	8.8	8.3	7.2	7.0	5.2	4.9	2.7		
精検受診者数		414	106	90	51	69	36	51	11		
精 密 検 査 結 果	乳がん	14	1	2	-	3	2	5	1		
	線維腺腫	37	9	9	7	5	2	5	-		
	乳腺症	142	38	34	17	22	12	16	3		
	その他	29	8	7	2	6	2	3	1		
	乳がん疑い	1	-	-	1	-	-	-	-		
	異常なし	191	50	38	24	33	18	22	6		
実 施 方 法 別 内 訳	個 別 検 診	受診者数	5,784	1,089	1,033	694	951	663	954	400	
		（再掲）初回受診者数	3,011	810	471	294	441	266	612	117	
		初回受診割合	52.1	74.4	45.6	42.4	46.4	40.1	64.2	29.3	
		検 診 結 果	精検不要者数	5,382	990	944	641	883	630	906	388
			要精検者数	402	99	89	53	68	33	48	12
		精検受診者数		379	95	81	49	64	31	48	11
		精 密 検 査 結 果	乳がん	14	1	2	-	3	2	5	1
			線維腺腫	31	7	7	7	5	-	5	-
			乳腺症	125	32	30	15	19	10	16	3
	その他		29	8	7	2	6	2	3	1	
	乳がん疑い		1	-	-	1	-	-	-	-	
	異常なし	179	47	35	24	31	17	19	6		
	集 団 検 診	受診者数	702	162	168	73	86	64	99	50	
		（再掲）初回受診者数	486	126	111	47	47	37	83	35	
		初回受診割合	69.2	77.8	66.1	64.4	54.7	57.8	83.8	70.0	
		検 診 結 果	精検不要者数	664	151	157	71	81	59	95	50
			要精検者数	38	11	11	2	5	5	4	-
		精検受診者数		35	11	9	2	5	5	3	-
精 密 検 査 結 果		乳がん	-	-	-	-	-	-	-	-	
		線維腺腫	6	2	2	-	-	2	-	-	
		乳腺症	17	6	4	2	3	2	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-		
	乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-		
異常なし	12	3	3	-	2	1	3	-			

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成 24 年 10 月より、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。

対象者 当該年度において 41 歳、46 歳、51 歳、56 歳、61 歳の市民

実施方法 実施医療機関に委託し個別方式で実施

実施期間 平成 29 年 6 月から平成 30 年 3 月 31 日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検診料 1,300 円（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（平成 30 年 6 月 30 日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数		41 歳		46 歳		51 歳		56 歳		61 歳		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数		1222	373	849	91	230	72	152	60	155	57	145	93	167
検診結果	精検不要者数 A群	943	275	668	75	200	57	124	42	126	48	104	53	114
	要精検者数	279	98	181	16	30	15	28	18	29	9	41	40	53
	内訳 B群	204	75	129	13	20	11	21	14	22	6	26	31	40
	C群	75	23	52	3	10	4	7	4	7	3	15	9	13
要精検率		22.8	26.3	21.3	17.3	13.0	20.8	18.4	30.0	18.7	15.8	28.3	43.0	31.7
B群 精検受診者数		140	49	91	8	15	6	16	11	14	5	19	19	27
B群 精密検査結果	早期胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	進行胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃潰瘍	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	粘膜下腫瘍	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	びらん性胃炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	萎縮性胃炎	128	44	84	8	14	4	15	9	14	5	17	18	24
	慢性胃炎	3	2	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-
	その他の胃炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	胃ポリープ	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	十二指腸ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
異常なし	3	1	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	
その他	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
C群 精検受診者数		58	17	41	3	9	4	6	2	6	2	11	6	9
C群 精密検査結果	早期胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	進行胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃潰瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	十二指腸潰瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	びらん性胃炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	萎縮性胃炎	55	16	39	2	9	4	5	2	6	2	11	6	8
	慢性胃炎	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の胃炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃ポリープ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	異常なし	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

■検診後の除菌状況（平成 30 年 6 月 30 日現在）

（単位：人）

区 分		総 数		41 歳		46 歳		51 歳		56 歳		61 歳		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
除菌者数		170	56	114	10	20	8	20	11	18	6	26	21	30
内 訳	B群	119	39	80	7	12	4	15	9	13	4	17	15	23
	C群	51	17	34	3	8	4	5	2	5	2	9	6	7

(8) 健康診査

平成18年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成20年4月1日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。また、医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 特定健康診査・保健指導

平成29年度は保険年金課が実施

② 後期高齢者健康診査

対象者 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

※ただし、平成27年度より、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外とした。

実施場所 県内登録医療機関において実施

実施期間 平成29年6月から平成30年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

■受診状況

(単位：人・%)

区分	総数	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上
対象者数	12,452	84	6,292	3,179	1,805	824	218	50
受診者数	2,807	14	1,862	636	223	62	10	—
受診率	22.5							

③ 基本健康診査

対象者 当該年度において40歳以上で医療保険に未加入の大津市生活保護受給者等
 ※ただし、75歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に併せ、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外とした。

実施期間 平成29年6月から平成30年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）
 追加項目（血液検査、尿検査）※75歳未満の者のみ実施
 詳細項目（心電図検査、眼底検査、貧血検査）※75歳未満の該当者のみ実施
 保健指導 ※75歳未満の該当者で希望する者に実施

■受診者数

(単位：人・%)

区分	総数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70～74歳		75歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数	2,709	1,323	1,386	81	104	107	131	110	125	134	108	174	86	251	198	220	197	246	437
受診者数	274	153	121	5	6	8	10	17	5	10	15	21	11	36	19	31	21	24	34
受診率	10.1	11.6	8.7																